

巨大な「誰かの顔」が東京の空に浮上！

現代アートチーム 目 [mé] によるプロジェクト 《まさゆめ》 本日実施 YouTube にてライブ配信も

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京が Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13 のひとつとして主催し、現代アートチーム 目 [mé] が企画する《まさゆめ》。

1 年の延期を経て、ついに本日実施！ 東京の空に巨大な「誰かの顔」が浮かびました。



《まさゆめ》目 [mé], 2019-21, Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13
撮影：金田幸三

《まさゆめ》は、年齢や性別、国籍を問わず世界中からひろく顔を募集し、選ばれた「実在する一人の顔」を東京の空に浮かべるプロジェクトです。各地の国際芸術祭や展覧会で独創性と創造性に満ちた作品を発表し、話題をさらってきた現代アートチーム 目 [mé] のアーティストである荒神明香が中学生のときに見た夢に着想を得ており、見なれた空に巨大な顔が浮かぶという、圧倒的な風景が本日東京に出現しました。

当プロジェクトは、「出会った方それぞれの主体的な体験として作品を届けたい」というアーティストが本作品に込めたコンセプトを実現するべく、浮上日時や場所を事前には公表せずに実施しました。偶然作品に出会っていただくことも、作品を成立させる大事な要素のひとつです。《まさゆめ》は同じ場所に集まらなくても、それぞれの場所、時間、環境で体験、共有できる作品として、ライブ配信や SNS、マスメディアなど、様々なチャンネルを通じて多様なかたちで出会っていただきたいと考えています。

浮上した顔の大きさはおよそビル 6～7 階分、顔のモデルや浮上方法は作家の意向により非公開です。顔の向きが変わる可能性はありますが、固定の場所にて本日 20:00 まで断続的に浮上予定です。

開催概要

実施日時：2021 年 7 月 16 日（金）6:00～20:00

※天候等の影響により浮上を中断、または 20 時より前に終了する可能性があります。

※メンテナンス等、安全運営上の理由により降下している時間帯があります。

実施場所：東京都心部

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

企画：目 [mé] 協力：P3 art and environment



東京都



ライブ配信中！

《まさゆめ》は様々な方法でご鑑賞いただけます。公式WEBサイト、動画サイト、SNS もぜひご注目ください。

● 公式WEBサイト <https://masayume.mouthplustwo.me>

SNSなどに投稿された画像を、リアルタイムで収集し掲載しています。 #まさゆめ #masayume

● YouTube公式チャンネル <https://bit.ly/3qQpl1u>

固定カメラからの映像をライブ配信しています。 ※ライブ配信のみ。アーカイブは残りませんが、後日公式WEBサイトにて記録映像を公開予定。

● SNS Facebook：@masayume.mouthplustwo Instagram：@masayume.me Twitter：@masayume_me

プロジェクトの様子を、SNSを通じてご紹介しています。

アーティスト・ステートメント

私たちが直面している現在の危機。この中では「何かを計画して実行する」という、私たちの行動の根幹を支えてきた構造そのものが崩れている。もう一年余り続いている危機の中、その日々の実感は、地に足をつけ確実に歩んでいるはずの現実であるにも関わらず、まるでずっと先の未来のように、とても不確かで実態をはっきりと捉えることができない。日々見聞きすることになった医療や経済という観点は、言うまでもなく欠かすことができないものであるが、しかし、この現実を捉え、それを受け入れるには充分ではなく、別の観点「ものの見方」が必要である。チリのコピアボ鉱山落盤事故（※1）では、69日間地下深くに閉じ込められた鉱山作業員たちが、困難な生活の中で、ある日から突然、牧師や医師、記者となって、暗く狭い空間の中に「小さな社会」を見出した。「ものの見方」は、時に私たちの生存にも直結する。

人流の災害ともいわれるこの危機は、間違いなく人類によってもたらされたものであるが、いまだに受け入れ難くやり場のない感情さえ抱くことがある。しかし、どんな困難な状況であっても私たちはそれを見ようとし、感性を持ってそれを捉えようとしなければならない。何かを見出すのは後からでもいい。誰に頼まれたわけでもなく既にここに存在する人類は、これまでも広く大きな視野を持って、想像によって「後から」この世界やその存在の意味を見出してきた。この危機の渦中、それはとても難しいことだが、しかしそれでも、私たちはものを見ることを諦めてはいけない。

唐突に巨大な顔が東京の空に浮かぶ。

「当時 14 歳のどこにでもいる日本の少女が見た夢」のごとく、はっきりとした理由が添えられることのないまま、日常を一瞬無化するように、前もって予告することなく、突如として実施する《まさゆめ》。この実在する誰かの顔は、SNS やメディアを通して、様々な場所から多くの視点によって眺められることになるだろう。そして、その顔はこのパンデミックの空から私たちを見返している。まるで、この状況に加担しているのは紛れもない私たち自身であるというように。

《まさゆめ》は、この困難と向き合い続ける。何かを見出すその時に向けて、どんな時も想像を続けそれを分かち合いたい。

現代アートチーム 目 [mé]

※1 コピアボ鉱山落盤事故：2010 年 8 月にチリの鉱山にて発生した坑道の崩落事故。
33 名の作業員が閉じ込められるも、事故から 69 日後に全員が救出された。

目 [mé]

アーティスト 荒神明香（こうじん はるか、写真・中）、ディレクター 南川憲二（みなみがわ けんじ、同・左）、インストーラー 増井宏文（ますい ひろふみ、同・右）を中心とする現代アートチーム。個々の技術や適性を活かすチーム・クリエイションのもと、特定の手法やジャンルにこだわらず展示空間や観客を含めた状況 / 導線を重視し、果てしなく不確かな現実世界を私たちの実感に引き寄せようとする作品を展開している。

代表作に、個展「たよりない現実、この世界の在りか」（資生堂ギャラリー、2014 年）、《おじさんの顔が空に浮かぶ日》（宇都宮美術館 館外プロジェクト、2013-14 年）、《Elemental Detection》（さいたまトリエンナーレ 2016）、《repetitive objects》（大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2018）、《景体》（六本木クロッシング 2019 展：つないでみる、森美術館、2019 年）、個展「非常にはっきりとわからない」（千葉市美術館、2019 年）、などがある。第 28 回（2017 年度）タカシマヤ文化基金タカシマヤ美術賞、VOCA 展 2019 佳作賞受賞。2021 年は個展「ただの世界」（SCAI THE BATHHOUSE、7月6日〔火〕～8月7日〔土〕）にて新作を発表。



Photo: Takahiro Tsushima

《まさゆめ》とは

年齢や性別、国籍を問わず世界中からひろく顔を募集し、選ばれた「実在する一人の顔」を東京の空に浮かべるプロジェクトです。2019年3月から6月にかけて、WEBサイトやワークショップを通じて集まった顔は1,000以上。その後、顔を選ぶための参加型公開ミーティング「顔会議」(2019年6月23日実施)などを経て、2020年夏に実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け延期していました。これまで、"背景が東京であることの意味"や"作品を観ること"についてなど、多くの方々とプロジェクトの本質を共有しながら進めてきました。

公式WEBサイト：<https://masayume.mouthplustwo.me>

これまでのながれ

- 顔募集** 2019年3月26日～6月30日
東京の空に浮かぶ顔の候補を、世界中から大募集。
顔候補を探索・収集する「顔収集ワークショップ」も都内各地で実施。
- 顔会議** 2019年6月23日
世界中から集まった老若男女の顔からただ一人を選ぶため、誰もが参加できるオープンな会議を開催。
- トークセッション・シリーズ** 2020年4月11日、12日、14日
ゲストと共にプロジェクトを様々な視点から見直す関連プログラムをオンラインにて開催。
- 顔浮上** 2020年夏(延期) ⇒ **2021年夏**
東京の空に巨大な顔が浮かび、選ばれた顔はここで初めてわかります。



顔募集 (2019年3月26日～6月30日)

年齢・性別・国籍問わずひろく世界中から、空に浮かぶ“顔”候補の募集をおこないました。正面、右側面、左側面、背面の4方向から撮影した顔写真を用意するだけで誰でも応募できる特設WEBページからの応募のほか、目[mé]のメンバーとともに街へくり出し、顔候補を探索・収集する「顔収集ワークショップ」を都内各地で実施しました。顔収集活動自体も東京にとどまらず、国内外にまでひろがりをみせ、予想を上回る1,000人以上の方々にご応募いただきました。

顔募集レポート <https://masayume.mouthplustwo.me/articles/report-opencall.html>

顔会議 (2019年6月23日)

さまざまな人と意見やアイデアを交換することで、世界中から集まった老若男女の顔から、ただ一人を選ぶための手がかりを探るべく、「顔会議」を開催いたしました。会議はYouTube、Facebook、Instagramでもライブ配信し、のべ3,400人が視聴。オンラインからもたくさんのコメントをいただきました。

顔会議レポート <https://masayume.mouthplustwo.me/articles/report-facemeeting.html>

トークセッション・シリーズ (2020年4月11日、4月12日、4月14日)

関連プログラムとして全3回の「トークセッション・シリーズ」をオンラインにて開催しました。2019年春から動き出した《まさゆめ》をあらためて様々な視点から探求することを目指し、「街と人」「見ること」「東京の風景」という3つのテーマのもと、異なる専門性をもったゲストと目[mé]のメンバーが対談しました。

トークセッション・シリーズ レポート <https://masayume.mouthplustwo.me/articles/report-talksession.html>

「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは

オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組みです。

公式WEBサイト：<https://tokyotokyofestival.jp/>

「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13」とは

斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、Tokyo Tokyo FESTIVALの中核を彩る事業として、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウシナル東京が実施するものです。国内外から応募のあった2,436件から選定した13の企画を、「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル 13」と総称し展開しています。

公式WEBサイト：<https://ttf-koubo.jp/>

【取材のお申し込み・問い合わせ】

まさゆめPR事務局

E-MAIL：masayume@xpd-inc.co.jp

TEL：070-2170-0159（担当：宮城）、090-3682-9213（担当：斎藤）

【本事業に関するお問い合わせ】

まさゆめ事務局

E-MAIL：masayume@mouthplustwo.me

TEL：070-1568-9864（担当：明石）